

数学活用学習指導案

指導者

1. **日 時** 平成○年○月○日 (○) 第○時限
2. **学年・組** 第○学年○組○名
3. **単 元** 身の回りの数学
4. **単元目標**
 1. 身の回りで数学と関係しているものや現象を見つける。
 2. 社会と数学の関係を理解し、数学の必要性を見つける。
 ・ ・ ・ ・ ・ (略) ・ ・ ・ ・ ・
5. **時間配当**
 1. 身の回りの数学 ・ ・ ・ ・ ・ ○時間 (本時はその第○時)
 2. 社会生活と数学 ・ ・ ・ ・ ・ ○時間
 ・ ・ ・ ・ ・ (略) ・ ・ ・ ・ ・
6. **教材観**

・ ・ ・ ・ ・ 身の回りに数学と関係しているものはどのようなものがあるか考え、生徒自に発見させる。また例としてどういったものが考えられるかを例題とともに示し問題へとつなげる。
7. **生徒観**

・ ・ ・ ・ ・ 数学が苦手な生徒でも身近な例を挙げることで真剣に考えさせることができる。
8. **指導観**

・ ・ ・ ・ ・ 数学活用は発展させるとどの数学の分野でも活用でき、また別の教科に対しても考えを深めれることに繋がる。他分野に触れるので内容としては広く浅いものであるので単元ごとの切り替えに気を付け、丁寧に指導していく。

9. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
・身の回りの数学に対する関心を持ち、数理的な考え方に発展し、それを活用しようとする。	・身の回りの数学における様々な事象を数学的にとらえ、それを考察したり表現できる。	・身の回りの数学について図を利用して処理できる。	・身の回りの数学における基本的な概念や原理、法則を理解し、知識を身につける。

評価規準等は、https://www.nier.go.jp/kaihatsu/hyouka/kou/04_kou_suugaku.pdf を参考にすること

10. **本時の題目** ・ ・ ・ ・ ・ 最短距離の道順
11. **本時の目標** ・ ・ ・ ・ ・ 順列や組み合わせである P や C を使用せずに考察し、問いによって何通りあるか求めることができる。

12. 本時の指導過程

学習内容	指導過程・学習活動	指導上の留意点・評価
(導入) (8分) ・ ・ ・ (展開) (37分) ・ ・ ・	○身の回りの数学はどのようなものがあるか考える。 ・ 席の近い人と考えさせる。 ○最短距離の道順 ・ 例題を示す。 ・ 練習問題を解かせる。 ・ 生徒たちに発表させる。 ・ ・ ・ ・ ・ 略 ・ ・ ・ ・ ・	・ 私語が起きないように注意する。 ○生徒自身が身の回りの数学を積極的に考え出せる。 (関・意・態) ・ 道順の数を求めることができる。 ○解答を説明できる。 (技能)

(まとめ) (5分) ・・・	○道順の求め方を振り返る。 ・生徒に発表してもらう。	
本時のまとめ	・道順について道順の数を数える。	
備考		
使用教科書	「数学活用」(実教出版)	
準備物	・・・なし	

13. 板書計画

・・・

板書計画を略さずに具体的に書くこと.